

ヘッジファンド概況（2020年12月）

2021年1月

 資産運用研究所
小原 萌香

当月（2020年12月）のヘッジファンドの資金動向やパフォーマンス概況は、以下のとおりである。（データの出所はユーリカヘッジ。資金動向はユーリカヘッジのデータベースのうち2021年1月16日時点で報告があった58.34%のファンドに基づく推計値であり、パフォーマンスは1月27日時点で取得したヘッジファンド・インデックスより作成。）

1. ヘッジファンドの資金動向

～当月の運用残高は、全戦略・全地域で増加～

当月のヘッジファンド全体の運用損益は344億ドルの運用益、純流出入額は82億ドルの純流入となり、当月末の運用残高は426億ドル増の2兆2,378億ドルであった（図表1）。

戦略別にみると、9戦略（その他を除く）のうちマネージドフューチャーズを除いて純流入、運用損益は全戦略でプラスとなり、全戦略で運用残高が増加した。株式ロング・ショートの運用残高は170億ドル増と、前月に引き続き大きく増加した（図表2,3）。また、投資地域別でみると、運用損益と純流出入額ともに全地域でプラスとなり、運用残高が増加した（図表4,5）。

2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

～当月のリターンは、全戦略でプラス～

ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスの直近1年間の戦略別パフォーマンス概況は以下のとおりである（図表6,7,8）。（インデックスの概要は巻末Appendixを参照）

当月のユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターンは+3.40%と、3カ月連続でプラスとなった。当月のリターンを戦略別にみると、前月に引き続き、全戦略でプラスとなった。最もプラスが大きかったのは株式ロング・ショートの+4.41%で、次いでマネージドフューチャーズが+3.61%、イベント・ドリブンが+3.40%であった。

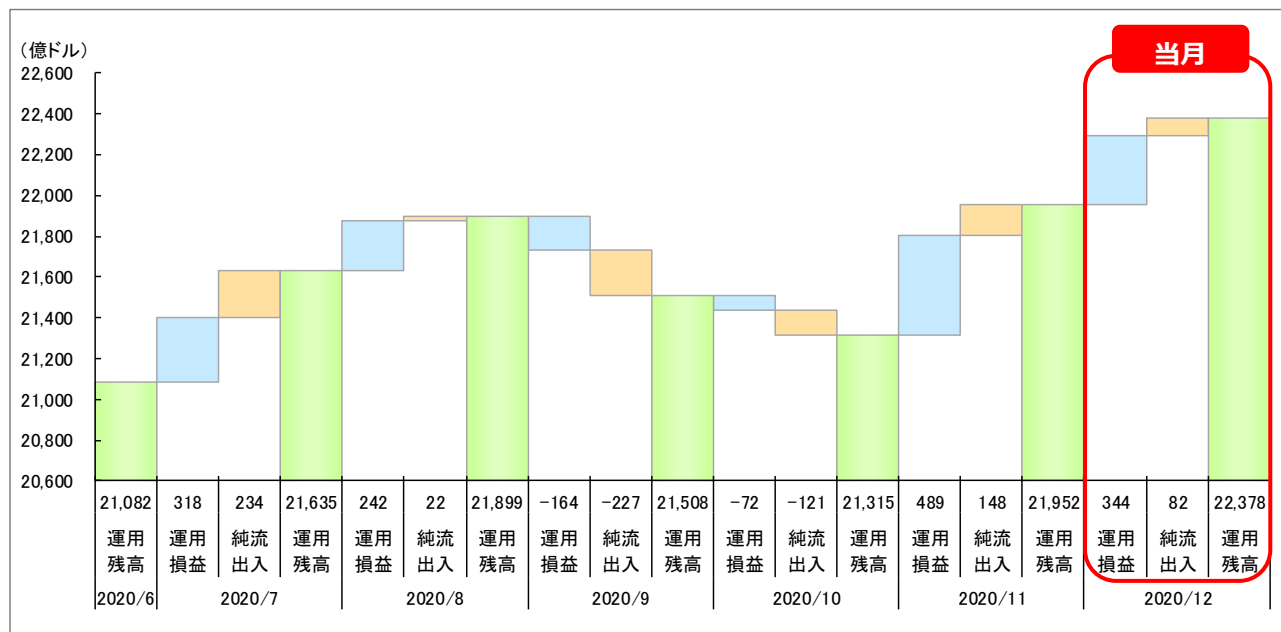
次に直近1年間のリターンでみると、9戦略いずれもプラスであり、なかでも株式ロング・ショートの+17.23%が顕著に大きく、次いでアービトラージが+10.58%、マクロが+10.29%であった。また、リターン/リスク比は、アービトラージが+2.82と、6カ月連続で最大であった。

※この戦略別リターンに使用している指数は、単純平均で計算されているので、図表2の運用損益の符号と一致しないことがある。

1. ヘッジファンドの資金動向

図表 1 ヘッジファンド全体の資金動向

※グラフの見方：左から順に「前月末の運用残高」「該当月の運用損益」「該当月の純流出入」、左記3点を合計した「該当月末の運用残高」が並んでいる



(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターン (%)

2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12
2.71	1.92	-0.75	0.04	4.38	3.40

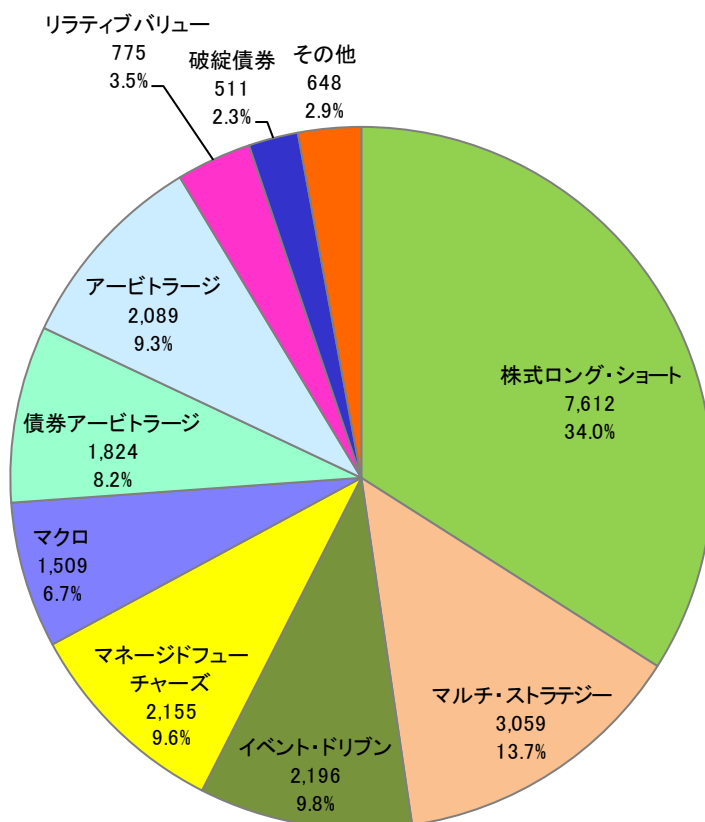
※ 当インデックスは単純平均で算出されている。

図表2 ヘッジファンドの戦略別資金動向

(億ドル)

投資戦略	12月末 運用残高 a + b + c	12月末 構成比	11月末 運用残高 a	12月中 運用損益 b	12月中 純流出入 c	運用損益+ 純流出入 b + c
株式ロング・ショート	7,612	34.0%	7,442	141	29	170
マルチ・ストラテジー	3,059	13.7%	2,980	66	12	78
イベント・ドリブン	2,196	9.8%	2,182	10	4	14
マネージドフューチャーズ	2,155	9.6%	2,076	80	-1	79
マクロ	1,509	6.7%	1,480	17	12	29
債券アービトラージ	1,824	8.2%	1,796	13	15	29
アービトラージ	2,089	9.3%	2,074	9	6	15
リラティブバリュー	775	3.5%	765	4	6	10
破綻債券	511	2.3%	511	0	0	0
その他	648	2.9%	646	4	-2	2
全体	22,378	100.0%	21,952	344	82	426

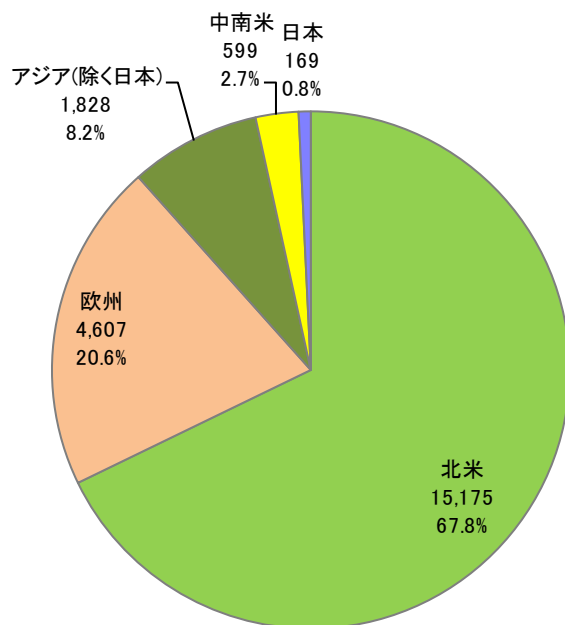
図表3 運用残高の戦略別構成比 (2020年12月末)



図表4 ヘッジファンドの投資地域別の資金動向

投資地域	12月末	12月末	11月末	12月中	12月中	運用損益+ 純流出入 b+c
	運用残高	構成比	運用残高	運用損益	純流出入	
	a+b+c		a	b	c	
北米	15,175	67.8%	14,913	245	17	262
欧州	4,607	20.6%	4,506	61	40	101
アジア(除く日本)	1,828	8.2%	1,782	27	20	46
中南米	599	2.7%	586	9	4	13
日本	169	0.8%	165	3	1	4
全体	22,378	100.0%	21,952	344	82	426

図表5 運用残高の投資地域別構成比 (2020年12月末)



2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

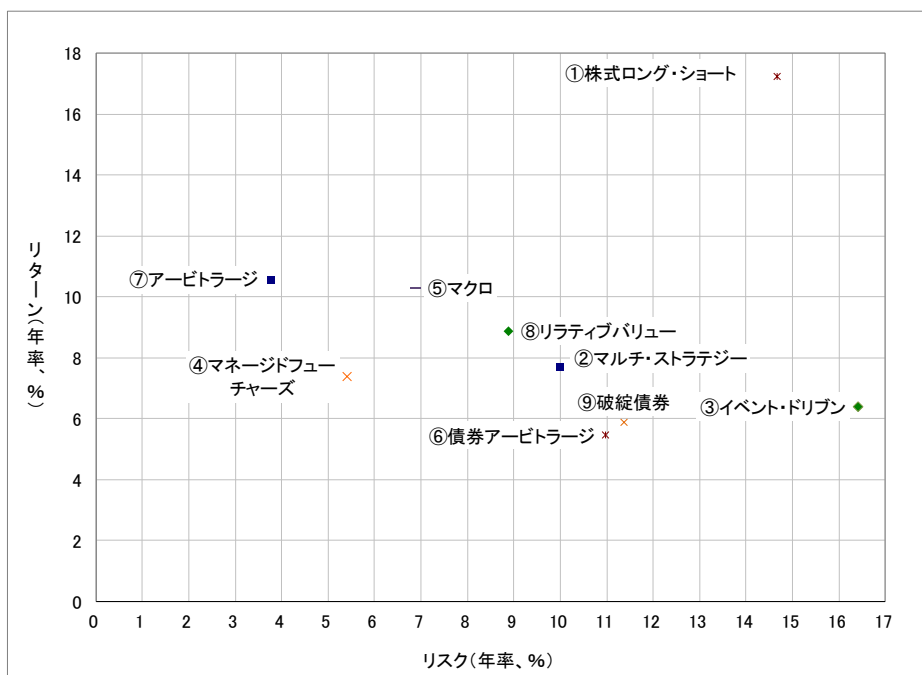
図表6 直近1年間の月次リターンの推移

戦略	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	直近1年間	
	/1	/2	/3	/4	/5	/6	/7	/8	/9	/10	/11	/12	リターン	リスク
①株式ロング・ショート	-0.22	-2.72	-8.77	6.12	2.91	3.06	3.53	2.96	-0.84	0.22	6.33	4.41	17.23	14.66
②マルチ・ストラテジー	0.44	-2.13	-6.51	3.79	1.47	1.79	2.25	1.29	-0.75	-0.38	3.87	2.76	7.70	10.00
③イベント・ドリブン	-0.72	-3.15	-12.00	6.15	2.50	1.31	1.39	2.80	0.12	0.24	5.48	3.40	6.39	16.41
④マネージド・フューチャーズ	0.55	-0.77	1.26	0.43	-0.22	-0.65	2.96	0.37	-1.65	-0.39	1.79	3.61	7.38	5.40
⑤マクロ	0.08	-0.61	-2.94	2.29	2.03	1.10	2.91	1.06	-1.54	-0.60	3.23	3.05	10.29	6.87
⑥債券アービトラージ	0.74	-0.49	-8.94	2.51	2.87	2.08	1.41	1.21	-0.15	0.26	2.64	1.77	5.45	10.97
⑦アービトラージ	0.43	-0.03	-1.05	3.18	0.97	1.06	0.70	0.89	0.19	0.36	2.30	1.14	10.58	3.75
⑧リラティブバリュー	-0.15	-3.11	-4.68	3.60	2.53	1.13	2.17	1.35	0.08	0.08	4.09	1.79	8.87	8.87
⑨破綻債券	0.55	-0.24	-9.23	3.36	1.83	2.05	1.24	1.18	-0.67	1.31	2.47	2.48	5.86	11.36
⑩TOPIX(配当込)	-2.14	-10.27	-5.99	4.35	6.82	-0.19	-4.02	8.17	1.30	-2.84	11.14	2.97	7.39	21.66

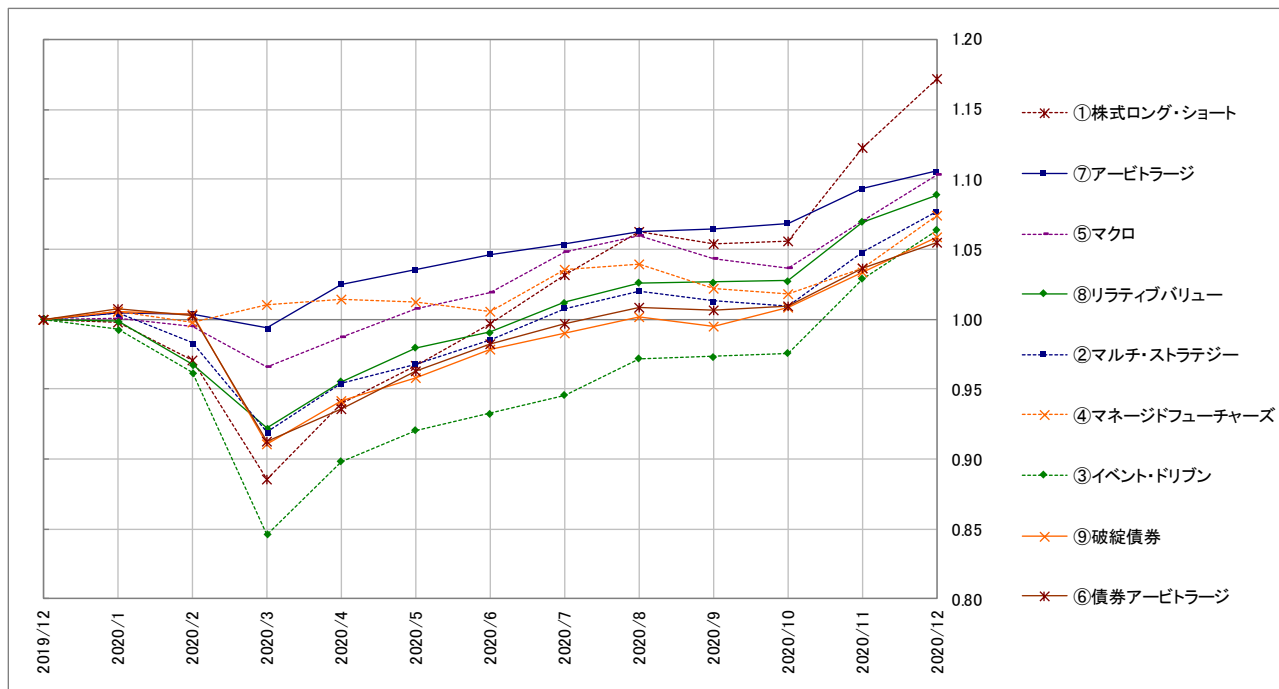
図表7 直近1年間のリターン・リスク (2020年12月末)

戦略	リターン (%)		リスク (%)		リターン/リスク比	
	値	順位	値	順位	値	順位
①株式ロング・ショート	17.23	1	14.66	1.18	4	
②マルチ・ストラテジー	7.70	5	10.00	0.77	6	
③イベント・ドリブン	6.39	7	16.41	0.39	9	
④マネージドフューチャーズ	7.38	6	5.40	1.37	3	
⑤マクロ	10.29	3	6.87	1.50	2	
⑥債券アービトラージ	5.45	9	10.97	0.50	8	
⑦アービトラージ	10.58	2	3.75	2.82	1	
⑧リラティブバリュー	8.87	4	8.87	1.00	5	
⑨破綻債券	5.86	8	11.36	0.52	7	

(分析期間) 2020年1月～2020年12月の月次リターンデータ



図表8 直近1年間の指数の推移 (2019年12月末=1.0)



※ 図表1～5,7,8はユーリカヘッジより日興リサーチセンター作成
 ※ 図表6はユーリカヘッジ、リフィニティブより日興リサーチセンター作成
 ※ 分析には2020年1月～2020年12月の月次リターンデータを使用

Appendix

- ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下のとおりである。

アービトラージ (Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ (CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券 (Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン (Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ (Fixed Income)

フィックスド・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート (Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ (Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野 (金利や通貨など) に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー (Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他 (Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

◀以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する▶

Eurekahedge(“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報をもとに作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づくいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd